

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月20日

計画の名称	水戸市における水災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	令和05年度～令和06年度（2年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	水戸市													
計画の目標	集中豪雨の頻発化，台風の大型化や都市化の進展等に伴う水災害リスクの増大に対し，洪水時の浸水想定区域を公表することで人的被害の軽減に資する。 一級河川と一体連続する準用河川区間において浸水想定区域を公表することにより，水害リスク情報の空白地帯の解消を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		15	A	15	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R5当初）	（R5末）	（R6末）
1	洪水時の浸水想定区域を公表することにより，災害時における住民の危険性への認識を深め被害の軽減を図る。また，災害時の避難路等の防災に対する意識向上を推進し，安全・安心な防災まちづくりへの寄与を図る。 準用河川（3河川）延長における浸水想定区域作成延長	0%	37%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

## A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	水戸市	直接	水戸市	-	-	浸水想定区域図作成	準用河川浸水想定区域図作成	水戸市						15		-	
											小計						15			
											合計						15			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
水戸市建設部建設計画課が実施	令和7年度
	公表の方法
	水戸市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	準用河川（沢渡川・石川川・狭間川）において、浸水想定区域図を公表し、河川の洪水による水害リスクを広く市民に周知し、洪水時の円滑かつ迅速な避難に寄与するものとなった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
国・県管理河川の洪水浸水想定区域図が公表されたことに連携し、市街化区域近傍の準用河川区間の水害リスク情報の空白地帯解消に取り組む。今後は、残された準用河川について土地利用の状況等を勘案しながら、水災害に対する防災意識向上を検討していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	